

Cente Technical Information

発行番号	101-0072	Rev	第1版	発行日	2013/03/11
題名	高速fseekマクロ(FS_SEEK_HIGH)を有効にした場合のファイルに対してfreadを実行すると不正なデータを読み出す場合がある不具合について				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente FileSystem Ver6.00～Ver6.01				
影響API	fseek				
関連資料	なし				

【現象】

高速fseekマクロ(FS_SEEK_HIGH)有効時、1クラスタサイズ未満のファイルに対しfseekを実行後、freadを実行すると誤ったデータを読み出してしまいます。

【原因】

ファイルのクラスタが1つしかない場合にも蓄積用のトップクラスタとラストクラスタの管理変数へ値を入れていた為、蓄積されていない不正なクラスタ(0など)を読み出していました。
その結果誤ったセクタのデータを読み出していました。

【回避方法】

■運用での回避方法

以下のいずれかの方法により運用で回避することが可能です。

- ・FS_SEEK_HIGHマクロを無効にする(高速fseek機能を使わない)。
- ・1クラスタサイズ以上のファイルに対してのみ使用する。

■プログラム修正による回避方法

修正方法につきましては、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。

以上